

⑭【新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院】

住 所	〒943-8507 新潟県上越市大道福田616番地		病床数：313床
診 療 科 目	総合診療科、内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線科、救急科		
研修責任者名	筆島 充 (病院長)	連絡先：rinsho-jimu@joetsu-hp.jp 025-524-3000 (代表)	連絡先担当者名：梅澤 真美子 佐藤 真由美
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：2人、24年度：2人、25年度：2人、26年度：2人、27年度：2人、28年度：1人、29年度：3人、30年度：2人、令和元年度：2人、2年度1人、3年度1人、4年度2人		
	研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数
	必修：内科（呼吸器内科、消化器内科、腎・糖尿病内科、循環器内科、神経内科）、救急科、総合診療科、外科（一般外科・乳腺外科）、産婦人科、小児科 選択研修：脳神経外科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線診断科	総合内科専門医15人、呼吸器専門医6人、人間ドック専門医1人、アレルギー専門医1人、消化器病専門医3人、消化器内視鏡専門医3人、肝臓専門医1人、胃腸科専門医1人、腎臓専門医3人、透析専門医2人、リウマチ学会専門医1人、神経内科専門医3人、認知症学会専門医1人、循環器専門医5人、心血管インターベンション認定医3人、心療内科専門医1人、小児科専門医3人、外科専門医5人、消化器外科専門医4人、脳神経外科専門医3人、脳卒中専門医2人、内分泌代謝科専門医1人、産婦人科専門医3人、周産期専門医1人、整形外科専門医2人、脊椎脊髄外科専門医1人、眼科専門医2人、皮膚科専門医1人、泌尿器科専門医2人、救急科専門医2人、麻酔科専門医3人、病理専門医1人、細胞診専門医1人、神経病理2人、放射線診断専門医1人、放射線治療専門医1人、耳鼻咽喉科専門医1人、核医学専門医1人、IVR専門医1人	総合内科11人、呼吸器内科2人、消化器内科2人、消化器内視鏡1人、アレルギー1人、循環器内科3人、腎臓内科1人、透析医学1人、心血管インターベンション1人、神経内科1人、外科1人、消化器外科2人、産婦人科1人、救急科1人、麻酔科2人、眼科1人、病理1人、神経病理2人、細胞診1人、認知症1人、心療内科1人、脊椎脊髄外科1人、プライマリ・ケア2人
<b>施設の概説・特徴</b>			
<p>当院は上越地域（上越市、妙高市）と近隣の糸魚川市、十日町市の一部を医療圏とする急性期中核病院です。「人にやさしく、地域に開かれ、地域に貢献する病院」を理念にかけ、地域密着型の病院づくりを目指しています。</p> <p>平成27年9月に卒後臨床研修評価機構（JCEP）の臨床研修認定病院に登録されその後の更新審査で4年認定をいただいております。2021年には、より高い基準を満たす病院へ発行される、全国でも数少ないエクスレント賞を受賞。病院全体が一丸となって教育に取り組む姿勢が高く評価されました。</p>			
<b>研修受け入れ可能診療科の説明</b>			
<p>内科：呼吸器、消化器、腎・糖尿病、循環器、神経、総合診療の分野に分かれています。一般的な病態を理解し、問診、理学的所見、各種検査に基づいて診断し、治療計画を立てることから退院支援まで学びます。地域のニーズを踏まえ人々の命と健康に関わる幅広い問題について他職種や地域と連携し取り組みます。また良好な患者医師関係の構築およびチーム医療が実践できます。</p> <p>救急科：救急外来とHCUにて救急科指導医が指導にあたります。緊急を要する病態に適切に対応し、プライマリケアの診療を実施できるように地域の救急医療体制と患者のニーズを理解し、他科・他医療機関と協力しながら、適切な初期診療能力を習得します。</p> <p>外科：外科系チームの一員として外科的疾患の診断や手術を経験し基本的な手技の習得と共に周術期の管理や外傷、栄養管理等における基本的な診療能力を習得する。救急外来を受診する患者に対し、適切な診断・検査・初期治療を行い、必要に応じて専門医に紹介できる。基本的な心肺蘇生法を確実に身につける。</p> <p>産婦人科：産婦人科疾患・妊娠・分娩に関する基本的病態・生理を理解し適切な診断、治療を行える診療技術を習得する。</p> <p>小児科：新生児期から思春期にかけて小児の発達の特性を理解する。その上でいわゆるcommon diseaseを中心とする小児疾患の診断や治療、健診や予防接種などを行うために必要な基本的能力（態度・知識・技術）を習得する。</p> <p>一般外来：総合診療科、小児科、外科で研修が可能。日常において遭遇するcommonな疾病に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するため、基本的な知識と技能を身につける。</p> <p>脳神経外科：脳神経外科疾患に対する理解と患者への対応を習得する。臨床診断と種々の画像診断を学ぶ。一時救急における救急処置、創傷処置、必要な検査を学ぶ。手術における基本的手技を習得する。</p> <p>整形外科：臨床医として整形外科医の役割を理解し、プライマリケアに必要とされる基本的知識と診察手技、技術を身につける。</p> <p>眼科：一般眼科臨床に必要な知識を習得する。診断に必要な検査の理解と技術の習得をめざす。手術、薬物等、治療に必要な基本的知識と技術の習得。</p> <p>皮膚科：プライマリケアに必要な皮膚の生理的病的状態の観察の方法を学び、視診・触診の重要性を体験し、全身疾患の一部としての皮膚症状の診察の基本、ならびに皮膚科プライマリケアを修得する。</p> <p>泌尿器科：尿路悪性腫瘍、尿路結石、尿路感染症などを中心に、一般泌尿器科疾患の診断、治療方法の理解、基本的手技の習得を目指す。</p> <p>麻酔科：手術患者の麻酔管理を行い、末梢静脈点滴確保から各種ライン確保、挿管、呼吸、輸液、循環管理等医療の基本技術が体験できます。</p> <p>病理診断科：臨床における生検、細胞診、病理解剖（剖検）の役割を理解する。循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、脳神経疾患などの病理の概略を理解する。</p> <p>放射線診断科：日常診療、救急診療で遭遇する疾患の画像を理解し、適切な検査計画を立案できるようにする。放射線科的治療である画像下治療（IVR）について、適切にコンサルトできるように、その基本を身につける。</p>			
<b>研修の概説と特徴</b>			
<p>○研修を受ける側の多様なニーズに配慮します。</p> <p>○指導医との距離が近く、診療科間の垣根が低い細部まで行き届いた研修ができます。</p> <p>○症例提示や問題点の抽出を通じてEBMに基づく診療を指導医とともに検討し、医学的知識や判断力を形成する姿勢や方法を身につけることができます。</p>			
<b>研修医の当直</b>			
<p>平均4回/月（日直も含む）</p> <p>○1年次は、指導医、先輩研修医と3人体制（屋根瓦方式）の見習い当直からスタート。</p> <p>○研修医がファーストタッチにかかわりますが、指導医のサポートを受けながら、監督下のもと診療が行われます。</p> <p>○当直の翌日の勤務は原則として免除とします。速やかに指導医等に自身の業務の引継ぎ・申し送りを行ったうえで、十分な休息を取るよう配慮しています。</p>			
<b>処 遇</b>			
<p>●給与：1年次固定給：350,000円 当直手当：19,400円/回 超過勤務手当：厚生連給与規定により支給 2年次固定給：380,000円 当直手当：19,400円/回 超過勤務手当：厚生連給与規定により支給</p> <p>●宿舍：借り上げ住宅あり。家賃50,000円まで補助します。（インターネット環境あり）</p> <p>●食事：昼食は弁当注文可。院内レストランや売店（コンビニ）も利用可。</p> <p>●居室：研修医室あり。（インターネット環境あり）</p> <p>●図書：各種学会誌等あり、Up To Date、メディカルオンラインあり。</p>			
※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。			